

戸高製作所・東洋信号通信社

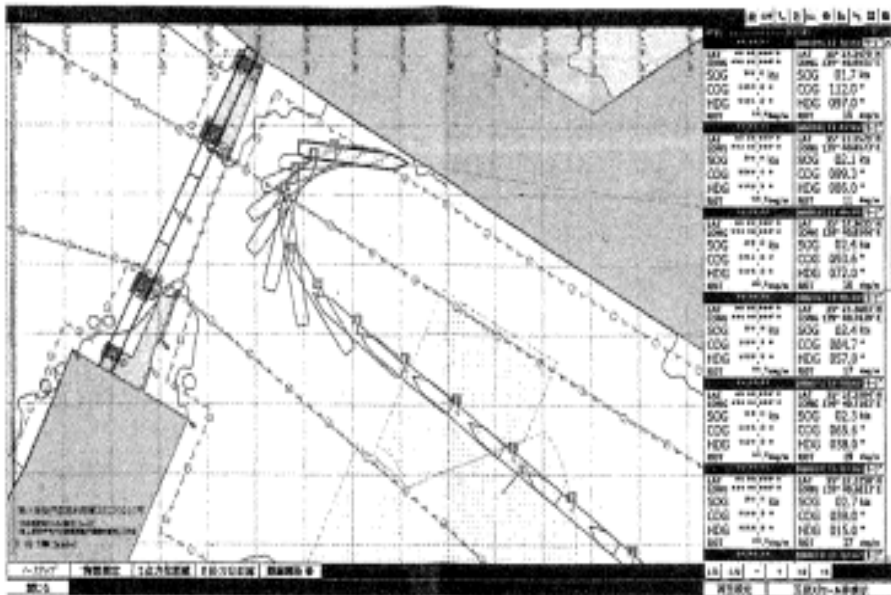
AIS 活用へ専用ソフト販売

過去のAIS情報再現に特化

戸高製作所(本社=大分市)と東洋信号通信社(本社=横浜市)では、専門的なスキルがなくてもAIS(船舶自動識別装置)のデータから航跡図を容易に作成する「AIS Replay」を販売している。同ソフトは、電子海図上で過去のAIS情報を再現することにより、すでに内航・外航海運において船種の別を問わず利用されているほか、水先人会や官公庁でも導入が進んでいる。同ソフトを活用することにより、事故やヒヤリハット事例の調査・情報共有、海技者の育成などに寄与することが期待される。

AIS情報は昨今、海上における衝突予防という本来の用途のみならず、本船の位置情報確認や過去の航跡の再現など、海事関係者の日常的な業務にも広く活用されている。

多くのAIS情報サービスでは、密度の粗い点



「AISReplay」の画面イメージ

単位で更新されるため、それらは逐次的に書き込まれて画面上に残ることはない。このような体裁の航跡は、各船の航行状況を観覧したい時には手軽だが、例えば、着離岸時の状況を事細かに確認する報告書などの書式に参考航跡図を添えるといった場合、船体姿勢の推移、進路や速度の継続的な評価(それらの値がどのように推移したか)がポイントとなるため、「使用目的によっては力不足となる」ともある(東洋信号通信社)。

こうした中、戸高製作所と東洋信号通信社は、AISデータを用いた航跡の表現に対する利用者からの要望にこたえるため、「AIS Replay」の販売を開始。この専用ソフトは、電子海図上で過去のAIS情報を再現することに特化しており、次のような特色がある。

①船体姿勢の推移を残

像化することで、一枚の画像に連続的な航跡を出力できる。

②秒単位で自動的に書き込まれていくAIS情報(ある時刻における瞬間的な速度・進路・船首方位などの値)を図中に取り置くことができる。これらの機能により、

専門的なスキルがなくても図のような航跡図を容易に作成することができるようになる。

「AIS Replay」は現在、船種・内外航の別を問わず船主や運航者の利用が進んでいるほか、水先人会や官公庁においても導入されている。用途については、事故やヒヤリハット事例の調査・情報共有にとどまらず、同ソフトでは、操船者が自身の操船を振り返るだけでなく、理想的な操船事例やベテラン船長の模範的な操船事例も共有・参照でき、自身の操船と比較するメジャーが可能になるため、海技者の育成に活用している事業者も存在する。

なお、「AIS Replay」はいわゆるデスクトップアプリケーション(パソコン用ソフト)であり、ウェブアプリケーションやクラウドサービスではないため、CD-ROMを用いて個別のパソコンにプログラムをインストールするAISデータが別途必要になる。点には注意が必要だ。

同ソフトの問い合わせは東洋信号通信社・ポータルデータ(TEL045・510・2342)URL=https://www.toyos-hingo.co.jp 所在地=横浜市鶴見区天黒ふ頭22-Y-1008階)まで。

TST 東洋信号通信社

